

2011年度

科目名	教育実習Ⅲ(小学校)			
担当教員	仲野 務			
配当	教福3		コード	80115
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数 4
授業テーマ	理論と実践をつなぐ			
目的と概要	実践現場でしか経験できないことを学ぶとともに、大学での学びを実践につなぐことを目的としています。中でも、児童・集団理解、指導の実際の観察、日々のふり返りを大切にして実習を進めます。			
成績評価法	勤務態度、指導計画、指導技術、児童に対する態度、集団活動の把握と指導、学級経営の理解と参加、実習記録の整理の7項目で評価します(比率は均等)。			
テキスト	なし			
参考書	必要に応じて紹介します。			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	児童の大切な教育時間をいただいているので、実習先の学校に対して誠意をもった態度で実習を行うこと。 遅刻、無断欠席、提出物の遅延、児童や教職員への礼儀を失した態度は厳禁。 教育実習指導(小学校)で学習したことから、復習して実習に臨むこと。			
講義計画				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的に、実習校側が作成した実習計画に沿って実習を行う。</li>   <li>・ 実習の内訳             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観察実習 (他のクラス等も含む)</li> <li>2. 指導案作成・授業の実施</li> <li>3. その他の教育活動 (クラブ、委員会等) への参加や支援</li> </ol> <p style="margin-left: 40px;">*各学校の計画によって、時間数等は変化するので、学校・担当教員の指示に従うこと</p> </li>   <li>・ 実習日誌の記入             <p style="margin-left: 40px;">*作成・提出方法については、学校によって方法が異なるので、学校・担当教員の指示に従うこと</p> </li> </ul>				